

令和4年11月17日

総務民生常任委員会
委員長 中平 裕二 様

総務民生常任委員 中平 裕二

総務民生常任委員会行政視察報告書

下記の日程で行政視察を実施しましたので、別紙のとおり報告します。

記

1. 視察期日及び視察先

令和4年11月8日（火）

岡山県勝田郡奈義町 「子育て支援施策について」

11月9日（水）

岡山県総社市 「障がい者雇用施策について」

2. 視察参加名簿

委員長 中平 裕二

副委員長 上田 啓二

委員 林 哲也

委員 綾城 美佳

委員 江原 健二

委員 田中 千秋

委員 ひさなが信也

以上7名

3. 視察報告・所感 別紙

(別紙)

視察先	岡山県勝田郡奈義町			
視察日時	令和4年11月8日 13:30~15:30			
視察項目	子育て支援施策について			
対応部署名	情報企画課			
自治体概要	面積	69.52km ²	人口	5,758人 (令和4年11月1日現在)
	世帯数	2,512世帯		
	特色	自衛隊 日本原演習場		
	奈義町は、岡山県の北東部に位置し、鳥取県との県境にある町であり、町域の大半を山林が占める。南部は日本原高原と呼ばれる高原となっており、陸上自衛隊日本原駐屯地と日本原演習場がある。 平成14年に津山市や他の勝田郡の町との合併が議論されたものの、いずれの市町村とも合併しなかった。 主な産業は、林業・農業・製造業であり、南東部には東山工業団地がある。 子育て支援施策は先進的であり、子供医療費無料化や進学費用支援に力を入れ、合計特殊出生率は高水準(2019年で2.95)を維持している。			
視察内容				
<p>奈義町の子育て支援施策について、情報企画課参事及び岡部奈義町議会議長から説明を受けた。まず、平成14年の市町村合併では、町民の8割近くが合併に反対したため合併を選択しなかった。合併して新しい市町になるより、先人など沢山の人たちが町の明るい将来を思い、力を合わせて脈々と築いてきた奈義町の姿を残したいとの思いで他の市町と合併しなかったと理解した。</p> <p>奈義町の抱える最大の課題は人口減少であり、人口減少は町の基礎を揺るがす深刻な課題となっている。この大きな課題を克服するため、全ての行政施策を人口維持に向けた施策、まずは定住化に向けた住宅施策を行った。町でリスクを取り、賃貸住宅を整備して町外から移住を促進させ、定住促進住宅(60戸)や民間賃貸住宅整備補助(戸建100万円助成)など、住宅環境の整備を行った。また、東山工業団地を建設し、企業誘致を図って町民の働く場を確保し、手厚い子育て支援施策、例えば高等学校等支援金交付事業(1人当たり年額17万5千円)、出産祝金交付事業(1人当たり10万円)、在宅育児支援金交付事業(該当児1人当たり月15,000円)、おたふくかぜ、インフルエンザ予防接種の高校生までの無料化や「しごとコンビニ」事業(短時間の就労斡旋)等、充実した施策を実施し、令和元年の合計特殊出生率は2.95を記録している。10年来「家庭・地域・学校・行政みんなが手を携え地域全体で子育てを支えるまち」を目指し、【奈義町子育て応援宣言】をして子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>そして、合併当時は町職員だった岡部奈義町議会議長に、合併しなかった経緯、町長が代わっても基本的な考えや施策は変わらず、継続できている事を直接伺った。</p>				
所 感				
<p>奈義町の子育て支援施策を、テレビ放送やネットで見たり調べて行政視察に臨みました。参事・議長の説明も丁寧でなるほどと思いました。人口維持の為の子育て支援施策には、町民、町職員、町議会、町長の奈義町への愛着・愛情が込められていて、簡単に真似ることが出来るものではなく、郷土を残したいと思う、信念や意志等から考えていかなければならないと思います。そして、岡部奈義町議会議長からは、合併当時は町職員で町政(人口維持の為の子育て</p>				

支援施策の実施)に携わり、現在では奈義町議会議長として子育て支援施策を議会として推進していく等、見習うべき議員像を示していただきました。

長門市も安心・安全に子育てできるまちに一步でも近づく為、奈義町の子育て支援施策を参考に弛まぬ努力が市民・市職員・市議会・市長みんなに必要なと思いました。

(別紙)

視察先	岡山県総社市			
視察日時	令和4年11月9日 13:30~15:30			
視察項目	障がい者雇用施策について			
対応部署名	保険福祉部福祉課			
自治体概要	面積	211.9km ²	人口	69,696人 (令和4年9月末現在)
	世帯数	29,250世帯		
	<p>総社市は岡山県南部に位置する自然豊かなまちで、平成17年に総社市・都窪郡山手村・清音村の3市村が合併し、新たに総社市となった。主な産業構成は第3次産業就業者構成比65.9%、第2次産業就業者構成比23.5%、第1次産業就業者構成比2.9%となっており、長門市の産業構成とは異なっている。</p> <p>総社市は片岡市長のもと、「全国屈指の福祉文化先駆都市」を目指して市民にやさしいまちづくりに取り組んでおり、「子育て王国そうじゃ」、「障がい者千五百人雇用」、「ひきこもり支援」などの福祉施策が充実している。</p>			
視察内容				
<p>障がい者千五百人雇用施策の取り組みについて、保険福祉部福祉課及び片岡市長から説明を受けた。障がい者雇用施策は、片岡市長の強力なリーダーシップのもと開始している。市長初当選時の選挙公約に障がい者雇用の促進を掲げ当選、市職員・総社市市議会を説得して自らの政治生命を賭けて推進している。</p> <p>平成23年12月に「障がい者千人雇用推進条例」を制定。基本的事項や市・企業・市民の役割を明文化して「障がい者千人雇用センター」を設置した。「障がい者千人雇用センター」では、企業と障がい者のマッチングや障がい者の生活支援を行い、ハローワーク総社と協働した「就労支援ルーム」を設置して「福祉から就労」に向けたワンストップ付き添い型の綿密な支援を実施、障がい者千人雇用の目標を達成した。</p> <p>平成29年9月、新たに「障がい者千五百人雇用」事業として再スタート。より多くの障がい者の就労を目標とし、障がい者が就労を通して、生きがいを感じながら安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的としている。</p> <p>障がい者雇用センターの職員は、2,000社の企業を巡り180人の就職を斡旋したり、登録者に対してマッチングから生活まで、マンツーマンでサポートを行うとともに、企業など就労先へのアフターケアも担当している。</p> <p>総社市が行う取組として、「障がい者向けの就職面接会の実施」、「広報活動により障がい者雇用をアピール」、「障がい者と触れ合える場所の提供」、「一般就労への移行を図る取組」、「コンビニエンスストアの活用」等の効果的な取組がなされている。</p>				

所 感

今回の視察ではまず、市職員の障がい者雇用の促進に対する意識・姿勢・熱意・実行力に驚かされました。

総社市の人口は7万人足らずで大企業があるわけではなく、障がい者の就労という事に有利なところはあまり無いと思います。市職員が障がい者の就労だけではなく、就労後のアフターケアや生活までマンツーマンでサポートすることなど、なかなか考えられません。是非、長門市も総社市の障がい者雇用施策を参考にして障がい者雇用を促進して行くべきだと思いました。

最後に、障がい者千五百人雇用施策を片岡市長から詳細に説明していただき、人道的な考え方で目から鱗が落ちる思いでした、政治的な考え方も教わり大変為になった行政視察でした。総社市職員、片岡市長には感謝しております。